

# 追分もつた色

追

分

上を向くと

可能性はパノラマのように

広がりつつける。

HOKKAIDO OIWAKE High School  
School Guide

い り ぬ ら じ

突、自

自分たちの世を見つめた

ここにわたしたちの世界を映る。

心を開いて



# 社会の変化に、勉強だけじゃ追いつかない。

だから追高は、ここでしかできない体験を重視します。

## 総合探究

### 選択授業「フードデザイン」



商品開発から販売まで。  
自分たちで考えた商品を世の中に出す意義。

高校3年生の選択授業「フードデザイン」の一環として、すべて安平町の食材でつくった『～秋色～あびらロールケーキ』を生徒たち自らが開発・販売し、連日即日完売となりました。机上の授業だけでなく、教室を飛び出して周囲から「ありがとう」と言われる体験こそ、広い視野を持つキッカケにつながります。

### 「校内を魅力化してみよう」



その他、地元根付いた学習が盛りだくさん！

- 「安平町の産業と特産物を知る  
(ダイナックスアーロムワイナリーによる植樹補助作業)」
- 「安平町の特産物を味わう」 など

## キャリア教育

### 就労支援懇話会



安平町で働く社会人と、  
“働く意義”について直接対話。

より早くさまざまな職業観に触れてもらうため、3年生だけでなく、2年生も対象に加えたキャリア教育。安平町で働く20～30代の社会人と生徒たちが教室で対面し、“働く”ことをテーマに意見交換します。正解のない時代をどう自分らしく生きるか、生徒自身の将来像を想起させる貴重な時間です。

### 職業ガイダンス



進路を考える前に、  
“社会との接点”によって自分を考える。

1・2年生はガイダンスや体験授業を通して、自らの進路意識の向上を図る目的で「職業ガイダンス」を実施します。「トリマーになるには」や「自動車パーツの分解・組付と内部構造の説明」など、事前のアンケートによって体験したい講座を二つ受講します。自分の興味を広げ、自分の好きに出会うための体験会です。

## 進学・就職先一覧

### 主な進学先

- 小樽商科大学 ●酪農学園大学
- 札幌国際大学 ●札幌学院大学
- 札幌大学 ●北海道情報大学
- 北翔大学 ●北海道職業能力大学校
- 北海道ハイテクノロジー専門学校
- 札幌リハビリテーション専門学校
- 大原医療福祉専門学校他

### 主な就職先

- 安平町役場 ●北海道銀行
- 株式会社三星 ●日本製紙株式会社
- コープさっぽろ ●株式会社ホクリヨウ
- トヨタ自動車北海道株式会社
- 社台ファーム ●北海道丸善株式会社
- 定山溪ビューホテル ●紀文食品
- 陸上自衛隊自衛官一般曹候補生 他

### 指定校推薦のある大学・短期大学

- 札幌国際大学・短期大学部
- 札幌学院大学 ●北翔大学・短期大学部
- 函館大学 ●國學院大学北海道短期大学部
- 札幌大学 ●星槎道都大学
- 北海道科学大学 ●北海道情報大学
- 北星学園大学 ●函館大谷短期大学
- 帯広大谷短期大学
- 他道内外大学・短期大学・専門学校

### 目指せる資格

- 日本語ワープロ検定
  - 情報処理技能検定
  - 漢字能力検定
  - 実用英語技能検定
  - 危険物取扱者資格検定
- ※安平町支援による検定試験受験料の半額補助があります

## 在校生インタビュー



久保 優羽

やりたいことを見つけるには、  
“心と時間の余白”が大切だって思えた。

追分高校に来る前は、周りの目を気にしたり、色々考えすぎて、毎日が時間に追われているような、常にスイッチがオンの状態で、すごく息苦しかったんです。自分の気持ちとか、やりたいことを考える余裕なんて全然ありませんでした。でも、追分高校に来て、肩の力が抜けました。時間の流れがゆっくりになったように感じます。もちろん忙しい時もあるけれど、自分のペースで過ごせる時間が増えたんです。そして、先生と生徒の人間関係が本当にフラットで、友達のように話せるのでとても過ごしやすい雰囲気、変に気を遣うことがないから、安心して自分を出せるようになりました。不思議なことに、これまで色々抱え込んでいたものを手放した

ら、自分がやりたいことが見えてきたんです。やらなければならないことに追われてばかりだったら、きっとそんな気持ちにはなれなかったと思います。今では、生徒会に入ったり、興味のあるボランティアに挑戦したり、地域の吹奏楽団で大好きな音楽をしたりしています。追分高校に来て気づいたのは、やりたいことを見つけるためには、心と時間の余白が大切だってこと。そして、フラットな人間関係の中で、安心して自分らしくいられるって、すごく幸せなことなんだって思います。

## 卒業生インタビュー



中崎 凌 安平町役場

地域に根ざしたこの場所で、  
自分のペースで大切なものに出会えた。

中学校時代は、将来への漠然とした不安を感じながらも、地域に貢献できる公務員の仕事に魅力を感じていました。そんな中で進路を考えた際、一般的な進学校ではなく、地域に根ざした追分高校という選択肢に、自分のペースで本当に大切なものを見つけれられる可能性を感じました。追分高校での三年間は、入学当初こそ戸惑いもありましたが、徐々に気の合う仲間と出会い、二年生の中頃からは本当に楽しく、充実した時間となりました。先生方との距離も近く、進路の相談はもちろん、何気ない会話も気軽にできる、温かい雰囲気がありました。地域との繋がりも深く、高校在学中から安平町役場の方々が学校支援に来てくださるなど、地域全体で生徒を育

てのような温かい関わりがありました。そうした中で、この町への愛着が自然と育まれていきました。高校卒業後、念願叶って安平町役場に就職し、現在は広報担当として、大好きな安平町のために働いています。高校時代から続く地域の方々との繋がりをを感じる場面も多く、この町への愛着は、私の仕事の大きな原動力となっています。追分高校は、生徒一人ひとりの個性を尊重し、それぞれの可能性を丁寧に育んでくれる学校だと感じています。もしあなたが、周りの意見に迷うことなく、自分の心で進むべき道を探しているなら、ぜひ追分高校の門を叩いてみてください。ここで得られる経験は、きっとあなた自身の軸となる「自分で選ぶ」という力を育むための、大切な一歩となるはずです。

## 3つのトピック!

### 安平町の支援

安平町は、生徒の自己実現に向けた支援をつづけています。



### ENTRANCE

追分駅前の「ENTRANCE」は、地域の方々が集まるコミュニケーション広場。



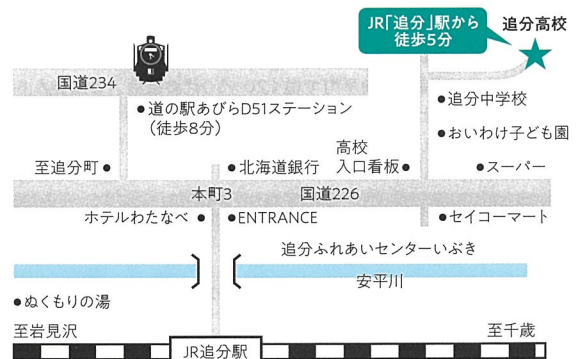
### メイキング

この学校案内を企画・デザインした方に、デザインに至るまでの経緯や想いを聞いてみました。



キミはこの余白に  
何を描く?

鉄道の分岐点、追分。  
この場所が、人生の分岐点となる。



〒059-1911 北海道勇払郡安平町追分本町7丁目8番地  
TEL・FAX 0145-25-2555(事務室) TEL 0145-25-3657(職員室)  
<http://www.oiwake.hokkaido-c.ed.jp/>

最新情報発信中



「北海道追分高等学校公式note」にて、  
追高の現場をお届けしています。

